

統合校1期生便り（能代北高校編）

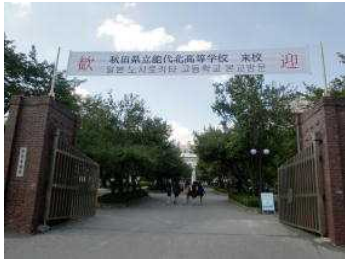
修学旅行の主な日程

9月17日 (旅行初日)	・秋田空港出発 ・仁川国際空港到着 ・ブルコギで夕食
18日(2日目)	・コリアハウス ・ソウル市内班別研修 ・観劇NANTA
19日(3日目)	・景福宮見学 ・国立民族博物館見学 ・学校交流（ Gumok Girls' School ） ・ソウルタワー見学
20日(4日目)	・仁川国際空港出発 ・秋田空港到着

出発直前の台風発生で実施が危ぶまれましたが、予定どおり3泊4日の日程を無事終えて元気に帰ってきました。本校にとっては最初で最後の「学年全体での韓国への海外修学旅行」で、思い出多き日々でした。今号は旅行の大きな目的である「学校交流」についてお伝えします。

なお日程の概略は左記のとおりです。

平成二四年度
海外修学旅行
Gumok Girls' Schoolの盛大な歓迎に感激



校門への横断幕設置等、周到的な準備で迎えてくれました

【歓迎式典、歓声と笑顔】

学校交流は今回の旅行の大きな目的の一つでした。旅行3日目晴天のもと、午後3時過ぎにGumok Girls' School正門前に到着しました。

到着早々、たくさんの生徒たちが校舎の窓から乗り出して大きな声で「かわいい」「きれいだ」と日本語で言いながら手を振って歓迎してくれたのにはとても感激しました。

体育館に入り、本校生徒とGumok Girls' Schoolの生徒がペアになって着席し、交流会が始まりました。Gumok Girls' Schoolの生徒が司会進行をし、流暢な日本語と韓国語の両方で話してくれました。

初めにGumok Girls' Schoolの校長先生のあいさつ、次に本校山口教頭先生のあいさつ、両校の代表生徒のあいさつと続きました。本校の生徒代表の伊藤早紀生徒会長は韓国語も交えあいさつをし、盛大な拍手を受けました。

「北子」(きたこ)の熱唱ーソウルの秋空に高らかに響く

その後Gumok Girls' School有志生徒からの「伝統楽器の演奏」「Kポップダンス」「クラシックの独唱」が披露され、その見事さに圧倒されそうでした。

引き続き本高各クラスから「日本らしさを見せてほしい」というGumok Girls' Schoolの要望に応える形で、合唱を披露しました。各クラスとも韓国語で曲紹介や、歌に対する思いを表現しました。曲目は、1組は「世界に一つだけの花」と「ふるさと」、2組は「フライングゲット」と「赤とんぼ」、3組は合唱コンクールで第3位を受賞した「天馬」です。慣れない場所で緊張もありましたが、Gumok Girls' Schoolに負けじと精一杯歌いました。



ソウルで聴いた日本の歌は格別な味がありました。

コミュニケーションの喜びを再確認する

その後体育館を出て、ペアになっている生徒と校地内を散策しながらのフリータイムを楽しみました。事前学習として勉強した韓国語と、英語、そして日本語をフルに使ってコミュニケーションをしました。時間の経過とともに理解が深まりどんどん楽しくなっていました。校内の自動販売機からアイスクリームを買ってごちそうしてくれる生徒も見られ、日本人が忘れかけている「もてなしの心」を随所に感じました。フリータイム終了間際にはメールアドレスの交換まで話がはずむ生徒も見られ、あっという間にGumok Girls' Schoolを離れる時間になってしまいました。

【記念撮影、別れそして涙】

最後に各クラスごとに、「ハナ、トゥル、セ（韓国で写真を撮る時にかける言葉）」の合図とともにポーズを決めて記念撮影をし、学校交流は終わりとなりました。皆校門まで見送ってくれて、「アンニョン（さようなら）」と何度も言いあい、後ろ髪を引かれる思いでGumok Girls' Schoolを後にしました。

次号では「ソウル市内班別研修」についてお伝えします。



すっかり意気投合して、ハイポーズ。